真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月30日

事務事業名	里山林整備事業	担当課・係	市民生活部　環境課　環境保全係
政策名　No	5　「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2　自然環境の保全と地球温暖化対策の推進		

成果指標

名　称	初年度からの実績値の比較 単　位	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
市内の自然環境保全活動に参加している市民の割合	%	29.9					38.0
森づくり事業による保全面積	ha	39.4					

事業内容

・とちぎの元気な森づくり事業を活用し、保全活動を実施している。
・各団体においては、荒れていた林が明るく安全な里山林へと整備され、ごみの不法投棄も減り、共同で作業することから地域の連携感の醸成に役立っている。

※　令和6年度　実施状況
　高田山：4.1ha、パートナー：0.4ha、長田：6.6ha、磯山：8.7ha、伊勢崎9.9ha、古山：6.5ha、中村八幡宮：3.2ha
　合計：39.4ha　39.4ha×50,000円　1,970千円

前年度の課題（Check）

・10年間の協定期間が満了となる団体については、継続した自然環境整備を促進するため、再協定締結に同意してもらう手続きを進める必要がある。
・市内の平地林についてナラ枯れが発生していることから、里山林ナラ枯れ被害危険木伐採等補助金により支援する必要がある。
・新規に里山林の整備を必要とする団体の発掘と情報発信の強化が必要である。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・令和7年度は、７団体で39.4haの保全活動を実施した。
　高田山：4.1ha、パートナー：0.4ha、長田：6.6ha、磯山：8.7ha、伊勢崎9.9ha、古山：6.5ha、中村八幡宮：3.2ha
　合計：39.4ha　39.4ha×50,000円　1,970千円
・ナラ枯れの状況について、活動団体と情報共有するとともに、関係課や栃木県との情報連携に努めた。
・保全協定を結んでいなかった土地所有者と交渉を行い、次年度からの保全協定を締結することができた。
・すでに協定を結んでいる土地の開発案件について、土地所有者との調整を進めた。
・里山林を所有している方に対し、とちぎの元気な森づくり県民税事業を知ってもらうため、ホームページへの掲載など情報発信を強化した。

【2】結果と課題（Check）
・里山林の維持管理をしていく上で、ナラ枯れの発生状況を注視していくとともに、ナラ枯れが発生した場合の対応について検討していく。
・保全活動を実施している団体については、担い手不足などもあり、活動の継続が難しくなっている団体が見受けられる。
・里山林を所有している方などに対し、とちぎの元気な森づくり県民税事業を知ってもらう取組が必要である。
・令和９年度でとちぎの元気な森づくり県民税事業の事業期間が満了することから、引き続き、県事業としての実施を要望していく。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・「とちぎの元気な森づくり」事業で整備した森林の保全管理活動を行う団体に対し支援する。
・事業の認知度向上に向けた広報の強化を行う。

(2) 長期的な計画で検討すること
新たに、「とちぎの元気な森づくり事業」に参画する土地所有者や里山林の管理団体等の発掘を行う。